

(2) 安心して安全な水をつくる・届ける

・ 安心して安全な水をつくる

(水道水の安全性)

今、世界中で安心して水道水を飲める国は少なく、多くの国の水道水は、実は飲み水に適していないのです。

しかし、日本の水道水は、安心して飲むことができます。これは、日本の水道には国が定めた厳しい基準があって、この基準をクリアした安全な水が、わたしたちの家庭に届けられているからです。もちろん、千葉県の水道水も安心して飲むことができます。



じゃぐち すいしつちようさ
蛇口での水質調査

(おいしい水づくりへの取組)

千葉県では、嫌なにおいや不快な味を感じない、安心して飲める水道水を目指した「おいしい水づくり」への取組を進めています。

おいしい水づくりオフィシャルサイトでは、安全でおいしい水道水をお届けするための取組内容や水のなるほど豆知識など様々な情報を知ることができます。

千葉県営水道 おいしい水づくりオフィシャルサイト(県営水道)

千葉県営水道 おいしい水づくり 検索

または



• ^{あんしん} ^{あんぜん} ^{とど} 安心して安全な水を届ける

千葉県の水道で使われている施設のなかには、40年以上も前に
つくられたものがあります。施設が古くなると、管路が弱くなり、
水が漏れるなど、みなさんに水を届けることが難しくなっ
てしまっています。そのため、これらの施設を点検して、必要なところを
修理したり、管路を新しく取りかえたりする工事や、管内を
洗浄することで、みなさんに安心して安全な水を届けています。



ポンプ設備の修理



電気設備の点検



水道管の点検



水道管の洗浄

(3) 作物を育てる水

みなさんは毎日なにを食べていますか。

普段食べている米や麦、野菜やくだものなどは、水田や畑でつくられています。水田や畑の作物は、土に植えて育てますが、太陽の光と水が必要です。

とくに、水がないと作物は育ちません。

・昔の農業用水

昔から、わたしたち日本人は、お米をつくるために水田の水をからさないように苦勞してきました。

川をせき止めて水を引いたり、土手をつくってため池にしました。

それでも水が足りないところは、井戸を掘りました。

千葉県の外房では、井戸水をくみ上げるため風車が使われることもありました。

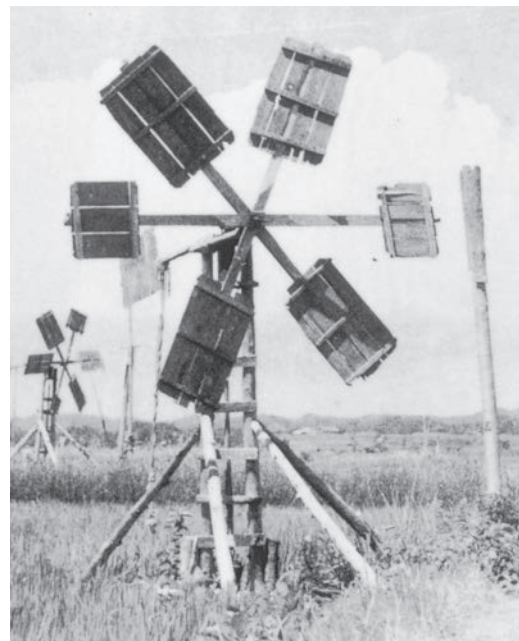


あしぶ しき すいしゃ
足踏み式の水車で水田へ水を送っているようす
(1961(昭和36)年ごろの香取地域(旧佐原市))



むかし たう
昔の田植えのようす

(1961(昭和36)年ごろの香取地域(旧佐原市))



あわ ち いき きゅうまるやま
安房地域(旧丸山町)で使われていた風車

・今の農業用水 (47ページ)

今は、農業用の施設がたくさんあります。

利根川から九十九里地域や北総台地に水を送ったり、印旛沼や手賀沼のように干拓して水田をつくり、沼から水をくみあげてかんがいに使っています。

また、千葉県は野菜の栽培もさかんで、畑のかんがいも多くなってきました。



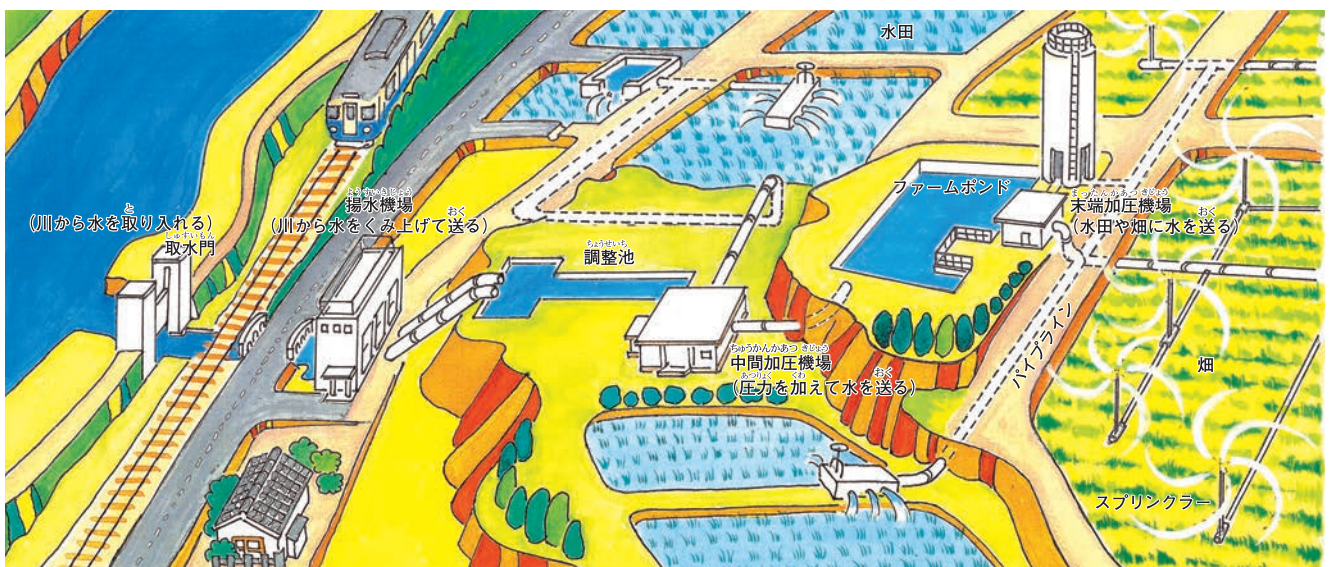
水田へ水を送るところ



スプリンクラーで畑に水をまいているところ



今の田植えのようす



農業用水のしくみ

※絵はイメージです。

注 干拓：沼や海などに堤防をつくって中の水を干して農地などの陸地にすること。

かんがい：作物を育てるのに必要な水を水田や畑に送ること。